

令和5年度 第1回 市長定例記者会見

定例会見

日時：令和5年4月6日（木） 11：30～

会見内容

1. 発表事項

(1) 居心地が良く歩きたくなる岐阜市のまちなかについて

都市建設部 交通政策課

(2) 旧いとう旅館活用整備事業の完了について

ぎふ魅力づくり推進部 ぎふ魅力づくり推進政策課

(3) 自分らしい学びを促す不登校支援 寄附金の募集開始について

教育委員会 学校安全支援課

(4) ふるさと納税返礼品・ぎふ長良川花火大会応援席チケットについて

ぎふ魅力づくり推進部 観光コンベンション課

(5) 「クアオルト健康ウォーキング」新コースの設定！について

保健衛生部 健康増進課

子ども未来部 子ども支援課 柳ヶ瀬子育て支援施設

1 - (1) 居心地が良く歩きたくなる岐阜市のまちなかについて

1 これまでの取り組み

- ・令和3年12月に、学識経験者をはじめ、岐阜県などの道路管理者、地域や商店街の皆様と、専門的かつ幅広い意見を交換する「**岐阜市中心市街地道路空間利活用懇談会**」を立ち上げ
- ・**金華橋通り**や**長良橋通り**をはじめ、**柳ヶ瀬商店街の道路**や**玉宮通り**など**中心市街地の4つの道路空間**について、**利活用の方向性**を意見交換
- ・**中心市街地の道路空間**について、**将来の方向性**をとりまとめた**パンフレット**を作成



パンフレット表紙

2 中心市街地の道路空間のあり方

(1) 金華橋通り

- ・令和2年には、「**ヤナガセパークライン**」として道路空間におけるオープンスペースの活用について**社会実験**を実施
- ・実験では、中心市街地の回遊性が向上したこと
片側4車線から1車線に減少する規制を7日間、昼夜連続して実施し、大きな渋滞もなく、**周辺交通への影響が小さいこと**を確認
- ・将来イメージは、
 - ▶ 緑豊かな**テニテオ**と連続的につながり、**誰もが思わず歩きたくなる**
 - ▶ 人々の**交流の場、イベントの場**
 - ▶ 誰もが**主役**になれる、**その場、その時**で顔の変わる空間
 - ▶ 公共交通や新型モビリティの**共存**といった「まちづくりの核となる**多様性のある道路空間**」
- ・道路を「**車中心から人中心**」の空間へ転換することで、**エリア価値の向上**のほか、歩く人が増えることによる**健康増進**や**医療費の抑制**、さらには、事業所等の**立地促進**、**雇用の拡大**など、**様々な効果が見込まれる**
- ・今後も引き続き、**社会実験**などを通して、**活用方法**や**整備による影響、効果**などを**検証**しながら、道路管理者など関係部署と連携し、道路空間の再構築を検討していく



ヤナガセパークライン



金華橋通り (日常の風景)

(2) 長良橋通り

- ・現在、**岐阜市商店街振興組合連合会**の皆様がにぎわいの創出に向け、取り組まれている

「歩行者利便増進道路制度」

いわゆる「ほこみち」制度の活用をさらに広げ、沿道店舗と道路が一体となった、買い物や飲食などを楽しめる空間

- ・交通結節点である名鉄岐阜駅前は、公共交通サービスを向上し、快適な歩行エリアを確保した**トランジットモール**空間で歩道を広げ、植栽やベンチなどを配置し、街ゆく人が心地よく過ごせる空間
- ・長良橋通りの将来イメージは、「多様な人を迎え入れる**公共交通と共存する空間**」



長良橋通り（現道利活用の様子）



長良橋通り（トランジットモール空間）

（3）柳ヶ瀬エリアの通り

- ・植栽やベンチなど**滞留施設を備えること**で、買い物や休憩をしたり、様々な世代、家族が**1日楽しめる空間**
- ・一方、老朽化したアーケードを撤去し、明るい日差しを取り入れ、建物から道路に張り出した、色とりどりの**オーニングテント**により、**開放的で良好な景観**を創出
- ・柳ヶ瀬エリアの将来イメージは、どのような天気でも楽しめるエリアと開放的なエリアが共存する、「多様なニーズに応える**公園のような道路空間**」



柳ヶ瀬（アーケードのあるエリア）



柳ヶ瀬（開放的なエリア）

（4）駅～玉宮～柳ヶ瀬の通り

- ・事業を進めている**電線の地中化**とともに、建物を道路境界から後退して建てる**セットバック等**、地元の皆様において定められている**協定**などにより、すっきりと、緑豊かで、歩きやすい、「駅から柳ヶ瀬をつなぐ**多彩な表情を味わえる道路空間**」をイメージ
- ・今後も引き続き、**市民や関係者の皆様とともに**中心市街地の**道路空間の再構築の実現**に向け、検討を進めていく



駅～玉宮～柳ヶ瀬の通り（夕方の風景）

3 おわりに

- ・今後も**関係者の皆様と連携**して、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」づくりを進め、センターゾーンのさらなる活性化を促し、**岐阜都市圏全体の発展**へと導いていく

1-(2) 旧いとう旅館活用整備事業の完了について

○ぎふ長良川鵜飼かわまちづくり計画

- ・本市では、令和2年度に長良川の歴史、文化、景観を1000年先へも継承し、持続可能なかわまちづくりを推進する「ぎふ長良川鵜飼かわまちづくり計画」を策定
- ・本計画に基づき、国や民間事業者、地元住民と連携し、「水辺空間」と「まち空間」が融合した魅力的な空間形成を目指す取り組みを進めている。

【砂礫河原整備】

(前)



昨年度は、

- ①国において、白い玉石で覆われたかつての砂礫河原の景観を復元
- ②市では、長良川右岸プロムナードで夜市やマルシェなどのイベント時に活用できる電源盤を設置
- ③さらに、川原町において「旧いとう旅館の活用整備」を進めてきた。

(後)



○旧いとう旅館の歴史

- ・旧いとう旅館は、戦後間もない昭和21年に建築され、高松宮ご夫妻が幾度となく宿泊され、また、NHK大河ドラマ第1作目（花の生涯）の原作者である舟橋聖一氏が、岐阜を舞台とする小説『白い魔魚』を執筆した歴史をもつ。
- ・平成27年、前所有者の「歴史あるまちづくりに生かしてほしい」との意志を受け、岐阜市が寄附採納



【旧いとう旅館】

- ・所在地 岐阜市元浜町35番地
- ・敷地 820.14㎡（登記面積）
- ・建物 木造2階建て
500.5㎡（登記面積）
- ・建築年 昭和21年、26年
- ・前所有者 二代目女将 伊藤 照子（故人）

○旧いとう旅館活用整備事業の取組

- ・旧いとう旅館が所在する川原町は、かつて城下町の川湊として発展し、現在も**往時の繁栄**を伝える**町並みが継承**され、近年は、古民家を改修した店舗（飲食店・ギャラリーなど）が増えるなど、本市を代表する**観光スポット**となっている。
- ・こうしたことから、本事業は、**観光振興**や**歴史あるまちづくり**に資するよう、**民間活力**による**整備と運営を一体で行う**方針で事業を進めた。
- ・令和4年3月に、公募型プロポーザルで、**㈱十八楼**を活用事業者を選定
- ・当該事業者が建物のリニューアルを実施し、令和5年3月に整備が完了

○新たな施設の概要

○東西2棟からなる**一棟貸しの滞在型宿泊施設**

名称は、旧いとう旅館の歴史を引き継ぎ「**十八楼離れ 宿いとう**」

【特色】

①柱や梁をはじめ、**歴史的に価値ある部材等、既存施設を活用**

【塀】



【無双窓】



【梁】



【灯笼】



【十八楼離れ 宿いとうの概要】

木造2階建て

【鶯】（西棟） 186.82 m²

【燕】（東棟） 137.18 m²

・施設整備等事業費：160,450千円
（うち、補助金交付額：80,000千円）

※1/2は地方創生推進交付金を適用

【川原町の景観に配慮】

・玄関に格子戸や門灯を設置

・町並みに調和した配色

②川原町の景観に配慮するとともに、**良質な滞在空間**を提供

③築70年以上が経過した建物の耐震性確保

○今後のスケジュール

- ・㈱十八楼主催による竣工式典（内覧会）：4月18日（火）13時
- ・営業開始：5月（予定）
- ・市が主催する市民向けのイベントを開催予定（例えば、民話ライブ等）

○まとめ

- ・**ポストコロナ**を迎え、インバウンドをはじめとする観光需要の拡大が見込まれる中、生まれ変わった「**旧いとう旅館**」を川原町界隈の**新たな観光スポット**として大いに活用し、引き続き、**持続可能な観光まちづくり**を推進していく

1-(3) 自分らしい学びを促す不登校支援 寄附金の募集開始について

〇趣旨

市内の不登校児童生徒が自分らしく学び、将来の自立を目指せるような学びの場を整え、誰一人取り残さない支援体制を構築するため寄附金を募集。

1. 不登校生徒の現状と課題

- ・全国的に不登校児童生徒は急増。
- ・令和4年度の市内不登校児童生徒数は1,000人超。平成30年度と比較し約2倍の見込み。
- ・自分らしい学びができずにいる不登校児童生徒は、岐阜市内にまだまだ多く存在。
- ・様態は複雑化しており、個に応じた様々な支援体制を構築する必要。

2. 草潤中学校の不登校支援の成果

- ・草潤中学校では様々な支援による成果。
適切な学びや支援を行うことで、その子らしい成長を促し、社会で生きる力を育むことができることが実証。

3. 自分らしい学びを促す不登校支援

- ・自分らしい学びを促す場として、
「不登校児童生徒のための校内フリースペース」を市内5校に整備。
不登校支援拠点校として様々な支援体制を構築。
- ・校内フリースペースで実証されたノウハウを市内小中学校へ展開。
誰一人取り残さない不登校支援をめざす。
- ・校内フリースペースは、魅力的で柔軟性がある空間。

拠点校
三輪中
岐阜清流中
梅林中
境川中
長森中

4. 寄附金の募集について

- ・校内フリースペースのような「自分らしい学びを促す不登校支援」のため
市内外の企業や個人から寄附を募集。
- ・「魅力的で様々な学びに対応する空間づくり」「教室に限らない学びやふれあいの場の構築」
「支援を行う人材の充実」などに活用。
- ・別紙チラシ参照
- ・問い合わせ先：岐阜市教育委員会 学校安全支援課（214-2325）

1-(4) ふるさと納税返礼品・ぎふ長良川花火大会応援席チケットについて

1 目的

- ・先般(4月4日)、**ぎふ長良川花火大会実行委員会**から、8月11日に開催する「**ぎふ長良川花火大会**」応援席についての発表があった。
- ・市においても、**花火大会開催に向けた気運を醸成**するため、応援席を活用した**新たなふるさと納税返礼品**の取り扱いを明日、**4月7日より開始**。

【応援席 4/4 実行委員会発表】

【市民先行抽選販売】

令和5年4月20日(木)から5月19日(金)

【一般先着販売】

令和5年6月12日(月)から8月11日(金)

・指定席(最前列)	1人	10,000円	470席
・指定席(2列目以降)	1人	6,000円	4,230席
・自由席(先行入場券付)	1人	4,500円	6,000席
・自由席	1人	4,000円	6,000席
・自由席(階段席)	1人	6,000円	1,400席
・三脚持込可能席	1人	10,000円	150席

※指定席はパイプ椅子席、自由席は段ボール椅子

2 返礼品の内容

- ・返礼品は、「**ぎふ長良川花火大会 応援席チケット**」とし

- ① **指定席(最前列)** 100席
- ② **指定席(2列目以降)** 500席
- ③ **自由席(先行入場券付)** 500席

の3種類(合計1,100席)とする。

3 取り扱いの内容

- ・本市では、3つのふるさと納税サイト
ふるさとチョイス、楽天ふるさと納税、auPAYふるさと納税をご利用いただける。
- ・取り扱いは、**令和5年4月7日から、終了は6月30日まで**。
- ・**寄付金額**は、**指定席(最前列)は38,000円、指定席(2列目以降)は24,000円、自由席(先行入場券付)は18,000円**

柳ヶ瀬子育て支援施設“ツナグテ”



あそび場はまなび場

遊びを通して学び、成長し、探求力を高め
天候に関係なく遊び込める場所をつくりました。
ここでは、それぞれの子どもの興味・関心等に応じ
自ら考え選択できる多様な学びの場があります。
また、子育てに希望と安心のあるまちに向け
地域の子育て力の向上を図ります。
岐阜のまちに対して愛着や誇りをもって
岐阜のまちが好きになるきっかけになる場所になるよう進めています。

■ 使用料

きっずエリア

- ・子ども(小学生以下):無料
- ・引率者(18歳以上):500円

ふぁみりーエリア

まなべルーム(研修室)

- ・料金:700円/時間
- ・利用方法:原則事前予約

あずかルーム(一時預かり)

- ・料金:平日 1人当たり700円/時間
休日 // 800円/時間

はいはいパーク
小さなお子さんが
安心して遊んでいた
だけのスペースです

まなべルーム
多目的に活用できる
研修室です

そうだんしつ
子育てに関する相
談をしていただく
スペースです

きっずエリア

あずかルーム
就学前のお子さ
んの一時預かりを
行うスペースです

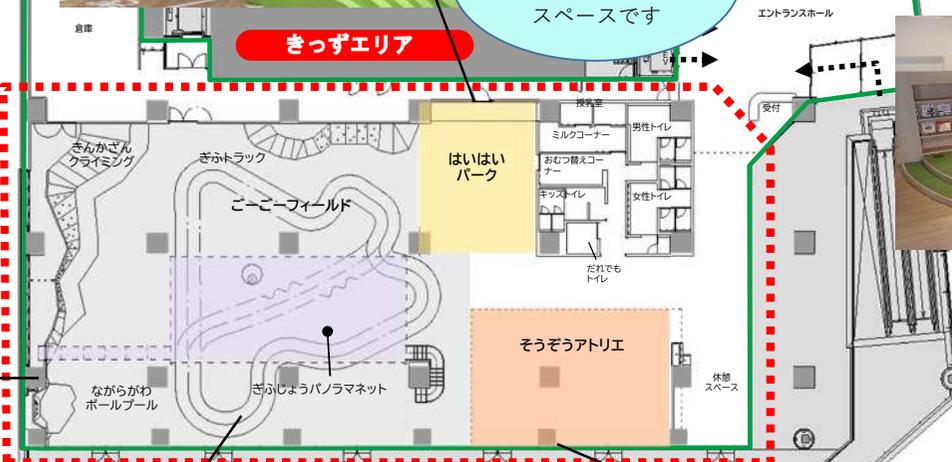
ふれあい広場
(図書館との連携コーナー)
親子で絵本の読み聞かせが
できるスペースです

■ 開館日及び開館時間

- 休館日:月1回定休(毎月最終木曜日)、
年末年始(12/29~1/3)、臨時休館日
- 開館時間:10時から18時まで

ごーごーフィールド
ネット遊具やボルダ
リングを備え付けた、
思いっきり動き回れ
るスペースです

そうぞうアトリエ
粘土あそびやお絵描きなど、
豊かな想像力で楽しんで
いただくスペースです



■ 施設の規模等
建設地 | 柳ヶ瀬ガラスル35 4階
(岐阜市徹明通2丁目18番地)
床面積 | 約1,930㎡

ふぁみりーエリア

